

事業所名

めるへんキッズ南大井園

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025年

3月

20日

法人（事業所）理念	子ども達とご家庭が幸せと思えるような暮らしができるように福祉サービスを提供します				
支援方針	利用者が日常生活における基本的動作を習得し、並びに集団生活に適応することができるよう、適切かつ効果的な支援を行います				
営業時間	9時	30分から	17時	0分まで	送迎実施の有無 あり なし
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	心身の様子・健康状態の維持に意識を向け、改善や基本的な生活リズムの習得への支援を考えていきます。食事の準備を行うことで食への楽しみを持ってもらい、食事の基本動作・食習慣の習得、いろいろな食材や味に慣れていけるよう支援していきます。身支度（水筒・タオルを出し荷物をロッカーに入れる・食後の片付け・靴・靴下の着脱・衣服の着脱）の習慣・やり方が身につくことができるよう練習を行います。			
	運動・感覚	粗大：室内運動・外出支援を経験しながら、心身機能や感覚を育てていき、「できた」「やった」の経験を共有し自信に繋げていきます。音に合わせて体を動かし体幹トレーニングを取り入れていきます。 微細：製作を通して指先での道具の使い方、課題を通してつまむ・ひっぱる・とおす・ひねる等の経験をもち自信に繋げていきます。			
	認知・行動	個々の特性に合わせた環境設定を模索しながら支援していきます。音楽やサインで活動の始まりや終わりを意識し「着席できる」「注目できる」「聞くことができる」ことや少し苦手な課題にも取り組む姿勢や力がつくように支援していきます。 机上での課題で、文字・数字・形・色・大小・長短等プログラムに取り入れていきます。			
	言語 コミュニケーション	個々に合った方法を模索し、ジェスチャー・サイン・絵カードや簡単な言葉への模倣を促して習得できるための支援を行います。要求や報告、伝えるだけでなく聴くことの大切さを感じながら周囲とのコミュニケーションを学んでいけるような支援を行います。 指示理解ができるような方法を考え学びに繋げていきます。			
	人間関係 社会性	活動や遊びを通じて、ルールを守る、指示に沿った行動をとる等社会適応能力を育てていきます。集団の中でのスキルアップを目指します。感情や気持ちのコントロールができない時は、子どものペースに合わせて考えたり、クールダウンの時間を設けて感情のコントロールができるように練習を行います。 集団生活の経験をすることで社会性が育むように支援します。			
家族支援	園の見学・面談、就園や就学に向けての相談を随時行っていきます。保護者からのご自宅での困りごとや生活へのアドバイスや環境調整についての相談を行います。	移行支援	就園先・就学先へ移行に向けた調整や情報共有を行います。 進路や移行先に関する本人や家族への相談援助を行います。		
地域支援・地域連携	就園先との情報共有や療育（保育）のアドバイス等、保護者の希望に応じて連携を図りながら発達のサポートを行います。	職員の質の向上	入社時に「社会人の基本」「療育の基本」を渡し研修を行います。 虐待防止・感染症・事故防止・災害・防災の研修を行います。 年に数回、必要に応じた研修への参加をし質の向上を図っています。		
主な行事等	めるへんタイム（保護者参加・参観）を年に2回行います。 季節の製作（鬼のお面・ひな人形・こいのぼり・七夕飾り・ハロウィン・クリスマス）季節の行事（初詣・花見・ハロウィン・クリスマス） 区の障害者作品展への出品				